

# 特集論説

## 新しい時代に求められる起業家精神

### Entrepreneurship Required in New and Uncertain Era

#### 特集論説にあたって

久保田 貴 文\*

現代社会やビジネスにおいては、不確実なことが多く、将来の予測が簡単に行えないような状態である。このような状態の時代のことを、Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとって、「VUCA 時代」と呼ばれている。特に、ここ数年の間には、2020 年ごろからの新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックとそれに関連する社会不安（コロナ禍）や、2022 年のロシアのウクライナ侵攻による地政学的なリスクの問題、さらにはその両者から関連する需給バランスの均衡が崩れることによる物価高など、1 年前、2 年前には想像もしていない世の中に変遷している。

そういった時代の中で、本学の経営情報学部として、起業家の精神に視座するような学問・考え方について、検討していく必要を感じている。そこで、「新しい時代に求められる起業家精神」について、コロナ禍からポストコロナ時代に移りかわる中で、今後 5 年から 10 年先を見据えて、専門的な知見や教育現場での試行について、論考としてまとめるに至った。ここでいう「新しい時代」については、それぞれの分野でも異なるが、「イノベーションの時代」、「ポストコロナの時代」、「不確実で混沌とした時代」などを想定して検討している。

「利他的で内発的な起業家精神の時代」（紺野）では、目的とパッションと場で新たなアントレプレナーを育てることが論じられている。また、「自己表現としての起業家精神」（浜田）では、従来と新しい時代の起業家精神について、ケーススタディーと年高齢化社会とキャリア自律について論じられている。さらに、「政策起業家が直面するチャンスとレントシーキングの間の狭い道」（中庭）では、起業家、政策起業家をレントシーカーにしない制度をつくることの重要性について論じられている。最後に、「新しい時代に求められる起業家教育— 起業家精神を養う教育とは —」（出原）および、「ポストコロナ時代における数理・データサイエンス・AI 人材の育成」（久保田）では、実際の教育場面において、前者はホームゼミにおける教育、後者はデータサイエンスに関連する授業における教育について、論じられている。

本特集は、これらの論説を通して、5 年先、10 年先の新しい時代にこそ求められる起業家精神の源泉をあらためて論考しているものであり、その起業家の特有の資質だけに囚われることなく、行動能力を捉え、それに対して我々がどう立ち向かっていくのかを論じている。

---

\* 多摩大学経営情報学部 School of Management and Information Sciences, Tama University

